

当組合の概要 (令和8年3月31日現在)

名 称 愛知県中央信用組合(略称けんしん)
本店所在地 愛知県碧南市栄町2丁目41番地
創 立 昭和28年7月8日
出 資 金 2,368百万円
組 合 員 数 29,082人
店 舗 数 12店舗
役 職 員 数 161人
預 金 1,590億円
貸 出 金 1,032億円
ホームページ <https://www.aichi-kenshin.co.jp/>



CONTENTS

けんしんの経営体制

ごあいさつ	2
経営理念、第八次中期経営計画	3
令和8年度事業計画	4
事業の概況	4
経営指標等の推移	5
マネー・ローンダリング、テロ資金供与対策 及び拡散金融に係る対応方針	5
コンプライアンス態勢の強化	6
リスク管理態勢の強化	7
開示債権の状況	9
顧客保護等管理態勢の強化	10
苦情処理措置及び 紛争解決措置等の概要	12

地域社会への取り組み

お客様満足度向上への取り組み	13
トピックス	15
地域貢献に関する取り組み	16
中小企業の経営の改善及び 地域の活性化のための取組状況	17

けんしんの概要

総代会制度	20
組織・役員一覧	23
営業地区・店舗一覧	24
業務のご案内	25
手数料	28
沿革・歩み	31
資料編	32



イメージキャラクター

は一とくんです。

よろしくお願いします。



平素は愛知県中央信用組合に格別のご愛顧、お引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、令和7年度(第73期)の業績及び経営の状況をご報告し、私どもの取り組みについてご理解を深めていただくために、「KENSHIN DISCLOSURE 2026」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、令和7年度の日本経済を顧みますと、大手企業を中心とした賃上げ継続機運を背景に、緩やかな回復傾向が続いております。国内のイベントとしましては、4月～10月にかけて大阪・関西万博が盛大に開催され、多大な経済波及効果をもたらした一方、長引く物価高騰が企業経営や個人消費に深刻な影響を及ぼしている状況です。

さらに、中東情勢緊迫化による原油・燃料価格の上昇は、経済の先行きへの大きな不安要素となっており、グローバルな不確実性も依然として高い状態が継続しています。海外においては、中国経済の先行き懸念やロシア・ウクライナ問題などの地政学リスク、トランプ政権の動向など、注視すべきリスクが数多くあり、その各種リスクに留意しながら、時代の変化に即応した柔軟な経営の舵取りや変革が求められる状況になってきております。

令和7年度は、「けんしん」の第八次中期経営計画の初年度であり、地域金融機関としての強固な経営基盤と確固たる地歩を確立するための各種施策を進めてまいりました。

その結果、業容面では、預積金期末残高1,590億円、貸出金期末残高1,032億円、当期純利益63百万円の計上となりました。また、自己資本比率は国内基準4%を上回る10.37%を維持しております。これも皆様のご愛顧の賜物であり、深く感謝申し上げます。

令和8年度「けんしん」は「HEARTS AND COMMUNITY」の経営理念のもと、昨年度からスタートしております第八次中期経営計画に基づき、メインテーマに「優先出資消却に向けた経営基盤の強化」を掲げ、地域に貢献できる健全性の高い信用組合を目指します。

当組合は、今後も組織強化と人材育成に注力してまいりますとともに、法令遵守及び内部管理態勢の充実・強化を図り、より地域に根差した金融機関「けんしん」として、その独自性を発揮し、皆様方のご期待にお応えできるよう、役員一同、なお一層の努力をいたしてまいります。

今後とも格別のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和 8年 7月
理事長 森 茂樹